



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 八洲電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3153 URL <https://www.yashimadenki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 太田 明夫
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営統括本部長 (氏名) 織田 富造 (TEL) 03(3507)3349
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	29,923	7.1	122	—	188	244.6	88	△50.8
2019年3月期第2四半期	27,938	△7.6	△33	—	54	△77.9	180	△12.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 75百万円(△76.2%) 2019年3月期第2四半期 318百万円(△43.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	4.11	—
2019年3月期第2四半期	8.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	45,031	19,739	43.0
2019年3月期	58,783	20,089	33.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,374百万円 2019年3月期 19,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	74,000	6.0	2,400	2.2	2,600	3.0	1,700	△7.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	21,782,500株	2019年3月期	21,782,500株
2020年3月期2Q	190,191株	2019年3月期	214,634株
2020年3月期2Q	21,577,082株	2019年3月期2Q	21,634,686株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2019年11月27日(水)に、機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続いておりますが、通商問題の動向による海外経済の不確実性や製造業を中心に設備機械への投資が減少する方向もあるなど、依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは2019年6月よりエンジニアリングセンターを移転集約するなど、エンジニアリングビジネスユニットを中心とした技術・営業一体の事業展開を強化し、また、インフラソリューションビジネスユニットを中心とした製品販売力の強化により、事業規模と収益の拡大を目指しております。また、情報・通信機器などの販売・設置工事・保守などを行う「八洲情報システム㈱」、九州地区の電力会社に水力発電機器の販売、保守・メンテナンスを行う「㈱西日本パワーシステム」が営業を開始し、グループ一体となってソリューション・エンジニアリング力の強化と拡大を図っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は299億23百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益は1億22百万円(前年同四半期は33百万円の損失)、経常利益は八洲独自のエンジニアリング力を活かした高付加価値案件が増加したため、1億88百万円(前年同四半期比244.6%増)と大幅な増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度に特別利益(固定資産売却益)2億55百万円が計上されていたため、88百万円(前年同四半期比50.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①プラント事業

鉄鋼・非鉄金属分野では、国内の建設業向け需要や、老朽化設備更新に対する大型投資案件があり、売上高は好調に推移しました。

石油・化学プラント分野では、各社において計画されていた保全工事案件が順調に推移し、売上高は好調に推移しました。

その結果、プラント事業の売上高は82億11百万円(前年同四半期比20.2%増)、営業利益は1億96百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。

②産業・交通事業

産業機器分野では、設備機械関連のセットメーカーからの生産調整があったものの、首都圏を中心とした再開発案件の継続により、売上高は好調に推移しました。

一般産業分野では、製造業向け受変電設備工事や特殊空調工事が増加し、売上高は堅調に推移しました。

空調設備分野では、首都圏を中心とした空調関連機器の販売や空調設備工事等が順調に進捗し、売上高は好調に推移しました。

交通分野では、列車運行システム関連の大型工事が計上されたことにより、売上高は好調に推移しました。

その結果、産業・交通事業の売上高は181億9百万円(前年同四半期比3.5%増)となり、一般産業事業の生産効率向上による業務改善により営業利益は7億99百万円(前年同四半期比37.0%増)となりました。

③電子デバイス・コンポーネント事業

産業機器分野では、潜在顧客需要の発掘に注力する一方、ソフト受託の顧客投資案件が増加し、売上高は堅調に推移しました。

その結果、電子デバイス・コンポーネント事業の売上高は36億1百万円(前年同四半期比0.3%減)となったものの、IoT関連製品に注力した結果、営業利益は1億12百万円(前年同四半期比24.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は450億31百万円で、前連結会計年度末に比べ137億52百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金(86億62百万円から75億36百万円へ11億25百万円減)、受取手形及び売掛金(275億46百万円から161億17百万円へ114億28百万円減)、未収入金(20億95百万円から5億45百万円へ15億49百万円減)が減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は252億92百万円で、前連結会計年度末に比べ134億2百万円減少しております。主な要因は、前受金(36億71百万円から46億23百万円へ9億51百万円増)が増加した一方、支払手形及び買掛金(265億6百万円から149億89百万円へ115億16百万円減)、未払金(31億51百万円から10億71百万円へ20億79百万円減)、未払法人税等(5億54百万円から2億43百万円へ3億11百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は197億39百万円で、前連結会計年度末に比べ3億49百万円減少しております。主な要因は、配当金の支払による4億31百万円の減少により利益剰余金(175億32百万円から171億87百万円へ3億45百万円減)が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により2億28百万円増加、投資活動により8億73百万円減少、財務活動により5億85百万円減少しました。その結果、現金及び現金同等物は66億66百万円と前連結会計年度と比較して12億32百万円(前年同期は26億52百万円の減少)の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの収入は、2億28百万円(前年同期は20億97百万円の支出)となりました。

これは主に、売上債権の減少額129億40百万円、たな卸資産の減少額3億62百万円、未収入金の減少額15億44百万円がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、仕入債務の減少額120億57百万円、未払金の減少額20億52百万円、法人税等の支払額5億74百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの支出は、8億73百万円(前年同期は35百万円の収入)となりました。

これは主に、投資有価証券の償還による収入50百万円、敷金の回収による収入48百万円がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、有形固定資産の取得による支出9億34百万円、無形固定資産の取得による支出58百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの支出は、5億85百万円(前年同期は5億89百万円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出1億40百万円、配当金の支払額4億30百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの進捗状況は増収増益と順調ではありますが、今後の不透明感もあり、2019年5月15日に公表した数値に据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,662	7,536
受取手形及び売掛金	27,546	16,117
電子記録債権	4,370	3,692
有価証券	150	100
商品	3,818	3,526
原材料	33	40
未成工事支出金	353	270
仕掛品	306	311
未収入金	2,095	545
その他	1,740	2,309
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	49,073	34,449
固定資産		
有形固定資産	5,826	6,727
無形固定資産	406	381
投資その他の資産		
その他	3,481	3,477
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	3,476	3,472
固定資産合計	9,710	10,582
資産合計	58,783	45,031
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,506	14,989
前受金	3,671	4,623
短期借入金	695	695
未払金	3,151	1,071
未払法人税等	554	243
賞与引当金	890	813
その他	577	473
流動負債合計	36,046	22,910
固定負債		
長期借入金	140	—
繰延税金負債	27	25
退職給付に係る負債	2,373	2,248
資産除去債務	16	16
その他	91	91
固定負債合計	2,647	2,381
負債合計	38,694	25,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	17,532	17,187
自己株式	△204	△181
株主資本合計	19,950	19,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	437	400
退職給付に係る調整累計額	△685	△655
その他の包括利益累計額合計	△248	△254
非支配株主持分	386	365
純資産合計	20,089	19,739
負債純資産合計	58,783	45,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	27,938	29,923
売上原価	23,134	24,760
売上総利益	4,803	5,162
販売費及び一般管理費	4,837	5,040
営業利益又は営業損失(△)	△33	122
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	20	23
不動産賃貸料	1	1
業務受託料	28	21
その他	43	25
営業外収益合計	94	74
営業外費用		
支払利息	2	1
売上割引	1	1
為替差損	—	4
不動産賃貸原価	0	—
その他	1	0
営業外費用合計	5	8
経常利益	54	188
特別利益		
固定資産売却益	255	—
保険解約返戻金	0	3
その他	10	—
特別利益合計	266	3
特別損失		
固定資産除却損	0	7
減損損失	0	—
その他	0	0
特別損失合計	0	8
税金等調整前四半期純利益	320	184
法人税、住民税及び事業税	87	204
法人税等調整額	56	△102
法人税等合計	144	102
四半期純利益	176	82
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	180	88

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	176	82
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△36
退職給付に係る調整額	72	30
その他の包括利益合計	141	△6
四半期包括利益	318	75
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316	81
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	320	184
減価償却費	145	160
有形固定資産売却損益(△は益)	△255	—
有形固定資産除却損	0	7
保険解約返戻金	△0	△3
減損損失	0	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△228	△76
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△29	△80
受取利息及び受取配当金	△20	△26
支払利息	2	1
売上債権の増減額(△は増加)	11,381	12,940
たな卸資産の増減額(△は増加)	△636	362
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,382	△12,057
未払消費税等の増減額(△は減少)	△273	△30
未収入金の増減額(△は増加)	2,319	1,544
未払金の増減額(△は減少)	△2,786	△2,052
未収消費税等の増減額(△は増加)	△18	3
その他	△262	△96
小計	△1,725	778
利息及び配当金の受取額	20	26
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△390	△574
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,097	228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△184	△934
有形固定資産の売却による収入	328	—
無形固定資産の取得による支出	△53	△58
投資有価証券の取得による支出	△16	△17
投資有価証券の売却及び償還による収入	13	63
保険積立金の解約による収入	12	20
子会社株式の取得による支出	△46	—
その他	△17	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	35	△873
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	480	—
長期借入金の返済による支出	△534	△140
自己株式の取得による支出	△125	—
配当金の支払額	△389	△430
非支配株主への配当金の支払額	△20	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△589	△585
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,652	△1,232
現金及び現金同等物の期首残高	13,010	7,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,358	6,666

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・交通 事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,832	17,495	3,610	27,938	—	27,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	74	7	83	△83	—
計	6,833	17,570	3,618	28,021	△83	27,938
セグメント利益	196	583	89	869	△903	△33

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「プラント事業」において、(株)三陽プラント建設の一部株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、120百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・交通 事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,211	18,109	3,601	29,923	—	29,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	125	8	208	△208	—
計	8,285	18,235	3,610	30,131	△208	29,923
セグメント利益	196	799	112	1,108	△985	122

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。